

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

てんねんきねんぶつ

天然記念物

関係のある情報

【場所】新見市哲西町上神代

【時代】—

【指定年月日】昭和60年8月5日

【所有】個人

【見学】可



もりあおがえるせいそくち

モリアオガエル生息地

かんけい しまち
関係する市町

にいみ し
新見市



この天然記念物について

モリアオガエルは、両生類アオガエル科で、日本だけに生息しています。体長は、雄は7.5cm程ですが、雌は大きく9.5cm程になります。体の色は緑色で褐色の斑紋があり、お腹は白色です。夜行性で、吸盤が発達し、主に木の上で生活しています。

5～6月ごろになると、夜間、雌雄は池や沼の岸に集まり、雌がまず樹木に登り水面上に張り出した木枝に行き、雄がそれに続いて集まり産卵を開始します。雌は、直径15cm前後の泡状の塊の中に200～300個の卵を産みます。2週間ほどでふ化したオタマジャクシは、自ら出す酵素で泡の塊を溶かし、底が破れると下の池に落ち、2ヶ月程で蛙になります。